

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	塚山公園		
所在地	横須賀市西逸見町・山中町・長浦町		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/tsukayama/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（昭和32年3月）		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会・県立塚山公園保存会グループ		
指定期間	R4.4.1～R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (横須賀土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況がA評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がB評価となったため、3項目評価はA評価となった。利用状況は、利用者数は前年度を上回り、目標を達成することができた。利用者の満足度は、年間を通して園内を快適に利用できる環境を提供したこと等により、極めて良好だった。一方、収支状況については、植物管理等の支出増の影響により、支出が計画値に比べて増加し、マイナス収支となった。 今後は山野草や花木を保全する維持管理や本公園の魅力を活かしたイベントの実施、ボランティアと連携した公園管理等を継続するとともに、更なる利用者の拡大のため、公園情報の発信等の広報活動への取組が望まれる。 <各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 里山の魅力と歴史を活かした公園づくりの実現に向けて、提案に沿った取組を行いながら管理運営にあたっていた。維持管理に関しては、サクラの樹勢回復を目的としたテング巢病の患部切除等や園内の枯れ木等の伐採を積極的に行った。また、清潔な空間確保に向け、トイレや園路等のこまめな清掃や計画的な定期清掃を実施した。利用促進については、例年開催しているイベント（山野草観察会等）の他、新たに地元町内会の親子を対象とした「みんなの花火」を企画するなど、積極的に開催していた。 ◆利用状況 公園利用者数は対前年度比で108.9%と平年並みの利用者率となり、A評価となった。今後は、本公園の特徴を取組促進の基軸として、更なる工夫が望まれる。 ◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が100%と高い評価を得たため、S評価となった。 ◆収支状況 桜の枯損木処理やテング巢病処置による支出の増があったが、概ね計画通りの支出状況であり、収支比率が97.8%と計画を下回ったため、B評価となった。 ◆苦情・要望等 利用者からの要望に対して、速やかに対応し、現場の対応改善が行われた。 ◆事故・不祥事等 なし ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 ◆その他 特になし

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	A	S	B	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	当該なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	四半期に1回程度	月例業務報告の記載内容や日々の報告を踏まえ、 現地の状況を確認した結果、適切に指定管理業務 等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	一年に1回	県と指定管理者との間で連絡協議会を開催し、施 設の管理運営上の課題等について、意見交換や情 報共有等を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ ☒ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設の維持管理 長期的視点による桜の維持管理	主に下半期に、桜の維持管理を行っ た。テング巢病等の処置が1,056 本、支障木の伐採が26本であった。	計画以上の実績があっ た。今後、継続的な取組 が望まれる。
利用促進のための取組 地域との連携や自然を活かすこと によるイベントの実施	3月から4月にかけて、地元の観 光協会が開催する「さくら祭り」に 協力した。（参加者：8,847名） 8月に、「親子昆虫観察会」を開 催した。（参加者：13名） 8月に、地元町内会の親子を対象 にイベント「みんなの花火」を企画 したが、台風により中止となった。 秋と春に、「山野草観察会」を開 催した。（参加者：春27名、秋23 名）	一部雨天により中止とし たイベントもあったが、 計画通りの実績があっ た。他、新たな取組イベン トが行われた。今後、継続 的な取組が望まれる。
利用者対応・サービス向上の取組 コミュニケーションの工夫	ホームページで、ライブカメラに よる桜の開花状況を配信した。 点字パンフレットを作成・配布し た。	計画通りの実績があっ た。今後、継続的な取組 が望まれる。
日常の事故防止、緊急時の対応	災害未然防止のための日常点検の 他、熱中症対策キットの配備等を行 った。 緊急参集訓練の実施の他、バッテ リー工具導入に伴う使用方法説明会 を開催した。	計画通りの実績があっ た。今後、気候変動に伴 う災害の激甚化等に備え て、事前の点検や診断に ついて、さらなる取組が 望まれる。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
A	

	前々年度	前年度	令和 6 年度
利用者数※	41, 059	41, 090	44, 765
対前年度比		100. 1%	108. 9%
目 標 値	40, 000	40, 500	41, 000
目標達成率	102. 6%	101. 5%	109. 2%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 目視による計測からの推計（公園利用者）

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

＜備 考＞
公園利用者数は対前年度比で108.9%と平年並みの利用者率となり、A評価となった。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易アンケートは施設の窓口で常設し通年で実施、詳細アンケートは年間2回を3月と7～9月に実施	「満足」、「どちらかといえば満足」の回答が9割を超えているため、公園利用者の満足度が高いと思われる。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 41 / 43 = 95.3%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	36	5	0	0	0	41	・子どもにやさしく親切 に対応頂いた。 ・手入れが行き届いてい た。
回答率	87.8%	12.2%	0.0%	0.0%	0.0%		
前年度の 回答数	32	12	0	0	1	45	
前年度回答率	71.1%	26.7%	0.0%		2.2%		
回答率の 対前年度比	123.5%	45.7%	0.0%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

＜備 考＞

利用者満足度調査の結果、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が100%と高い評価を得たため、S評価となった。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	18,100	0	12	自販機：12	18,112	18,112	0	
	決算	18,100	0	92	自販機：92	18,192	17,692	500	102.83%
前年度	当初予算	18,100	0	12	自販機：12	18,112	18,112	0	
	決算	18,100	0	128	自販機：128	18,228	19,190	-962	94.99%
令和6年度	当初予算	18,100	0	12	自販機：12	18,112	18,112	0	
	決算	18,100	0	131	自販機：131	18,231	18,645	-414	97.78%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位：千円)
令和6年度 /	前年度 /	前々年度 /	

＜備考＞ 桜の枯損木処理やテング巢病処置による支出の増があったが、概ね計画通りの支出状況であり、収支比率が97.8%と計画を下回ったため、B評価となった。
--

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		1 件	公園に関するお問い合わせについて、公園スタッフの電話対応を改善してほしい。	指定管理者（本部）から、より丁寧な対応を心掛けるよう指導・徹底が行われた。
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。